

書に向き合う
～地区書きぞめ展覧会に向けて練習～

今年も残すところ2週間を切りました。

年明けの地区書きぞめ展覧会に向け、各学年の国語の授業において、毛筆の練習が始まりました。普段はほとんど触れることのない毛筆に墨汁を浸し、緊張した面持ちで筆を運んでいました。

今年度の文字は、1年生「平和」・2年生「初空」・3年生「友情」です。

この3つの言葉はどのような意図で選定されたかは分かりませんが、中学時代に大切にしたいことを育み、世の中を幅広い視野で見渡し、新年の誓いを大空に向かって立て、頑張ってもらいたいという願い（姿）が伝わってきます。

文字に込められた意味や願いをかみしめながら、一筆一筆書くと、作品の出来栄も異なってくるのではないのでしょうか。

練習を重ねて、冬季休業明けにすばらしい作品が数多く提出されることを期待しています。



1年生の練習の様子から



手本を見ながら筆の運びを練習（1年生）



2年生の練習の様子から



手本を見ながら筆の運びを練習（2年生）